

# 大阪府立こんごう福祉センター改築工事

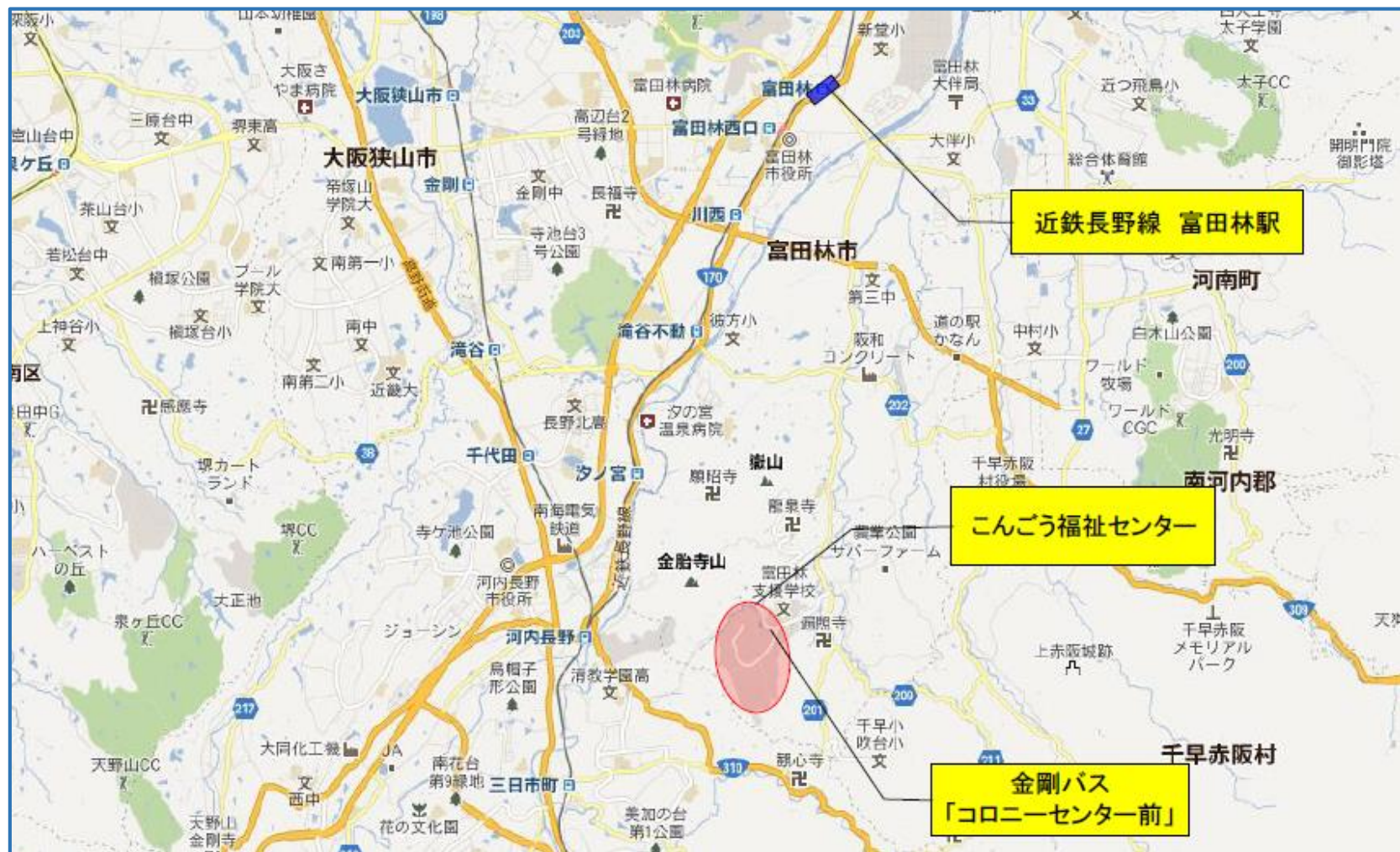
# モデル対象施設(こんごう福祉センター)の概要

## ◆大阪府立こんごう福祉センター(福祉型障がい児入所施設)改築工事基本設計業務 公募型プロポーザルの概要より

### 計画概要

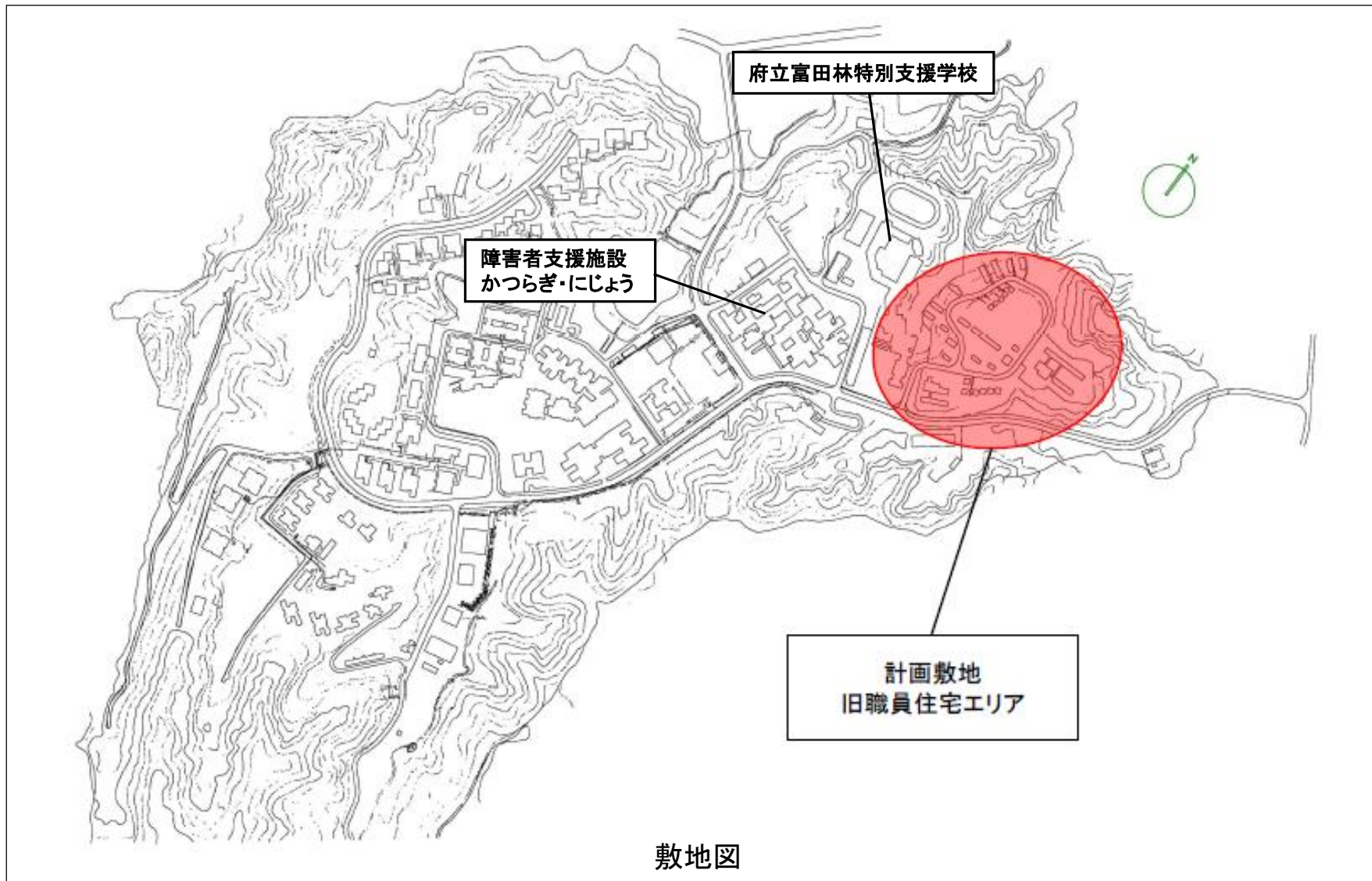
委託名称	大阪府立こんごう福祉センター(福祉型障がい児入所施設)改築工事基本設計業務
計画場所	富田林市大字甘南備
敷地面積	815,290 m <sup>2</sup>
計画規模	延べ面積 2,805m <sup>2</sup> 入所施設(居住エリア、管理エリア) 駐車場、駐輪場他
想定事業費	約19.5億円※提案内容を拘束するものではない
用途地域	市街化調整区域
事業の背景	府立障がい児入所施設として持つべき機能を持たせつつ、老朽化した施設の建替えを行うことにより、障がい児の福祉の向上に資することを目的とする。
その他	児童福祉法第四十二条第一号に規定する福祉型障害児入所施設 計画敷地はこんごう福祉センターの旧職員住宅エリア

# ◆大阪府立こんごう福祉センター(福祉型障がい児入所施設)改築工事基本設計業務 公募型プロポーザルの概要より



位置図

◆大阪府立こんごう福祉センター(福祉型障がい児入所施設)改築工事基本設計業務  
公募型プロポーザルの概要より



◆大阪府立こんごう福祉センター(福祉型障がい児入所施設)改築工事基本設計業務  
公募型プロポーザルの概要より



航空写真

## 景観アドバイス会議での主な意見

### ➤ 周囲の建物との関係

- ・「かつらぎ・にじょう」と「富田林支援学校」と今回の建物が、1つの敷地の中にあるような構成だと思う。  
この3つを1つの施設であるとして、沿道から見たランドスケープをきちんと設計すべき。
- ・近接する「かつらぎ・にじょう」では、黄色い壁によって動線の誘導を図り、全体を構成している。  
中庭(坪庭)をちりばめるなどの工夫を施している。こういった空間構造を踏襲していくことも大切。
- ・「かつらぎ・にじょう」も今回の計画建物もどちらも居住施設のため、居住施設としてのテイストで取り入れられるものは取り込んでどうか。
- ・「かつらぎ・にじょう」、「富田林支援学校」と今回の建物の3つの施設はほぼ色味がそろってくると思うので、  
基調色はあわせてもらいたい。そのうえでポイントカラーはそれぞれの建物で変えてもよい。

### ➤ 樹木の整理

- ・敷地全体としてかなり樹木がうっそうとしており、今のままでは多すぎ・茂りすぎ。(計画建物北側の)谷に面した緑をどう処理するか、建物内部からうまく緑を見せるといった課題もあるため、残す樹木と脱木する樹木を早い段階で整理した方がよい。
- ・沿道(敷地内通路)からのアプローチの部分は人の目にも触れやすいため、今の段階から樹木の計画等はしておいた方がよい。
- ・通路(建物計画地北西部の広場外周道路)や駐車場部分についても、残す樹木はどれにするのか等、検討されたい。

## ➤ 広場・通路部分

- ・建物周囲の通路の取り方は建物とセットで考えてはどうか。広場のつくりこみを考えてもらいたい。

## ➤ 建物デザイン等

- ・アプローチ景観の右側のフェンスは高くする必要はない。色も白ではなく明度の低い目立たないものがよい。
- ・単に敷地の境界線にフェンスを沿わせるのではなく、必要な場所を把握して設置すべき。エントランス周りの閉塞感と硬い表情をやわらげる工夫が必要。
- ・周辺の居室(事務室等)のエントランスアプローチ側の開口部を増やす、前庭を含めたエントランスとしての空間のまとまりをつくる、エントランス内部にも人の溜まれるスペースをつくり前庭部分に緑、高木等を配置して住宅の前庭のように演出する等検討してはどうか。
- ・建物周囲のフェンスのデザインも工夫してもらいたい。あまり目立たない方がよい。建物全体、庇などで横のラインが強調されているので、横のラインを強調するようなデザインとしてはどうか。
- ・庇で横ラインが強調されているので、それを活かすためにも、エントランス付近に設置されている柱は、赤でなく黒い方がよい。
- ・平屋の建物のため単調になりやすいので、壁の素材の使い分けによってそれをクリアするよう検討。
- ・シンボルツリーは、四季の変化を演出できるようなものと好ましい。
- ・駐車場、全てアスファルトで、単にラインを引くのではなく、少し素材を変える等、工夫された方が質の高いものとなる。車路と歩道の表情を変えられるなどすれば、歩きやすいと思う。

# 〔当初の配置計画〕





# 〔修正後の配置計画〕



みどりの広場で運動  
や自然学習を行う。

屋外多目的広場は位置を  
変更し、ボール運動にも対応  
するためフェンスを設置。

建物東側にも四季の感じ  
られる散策路を計画し生活  
に潤いを持たせる。

現状敷地の通行路形状を  
活かした散策路を作り、  
土地の記憶を残し、樹林  
の自然な成育を継承する。

駐車場に新たな舗装  
材を活用。

既存樹木を保存し敷地ア  
プローチに大樹の連なり  
を活用した修景を行う。

シンボルツリーは、四季  
の変化を演出できるよ  
うなもの。

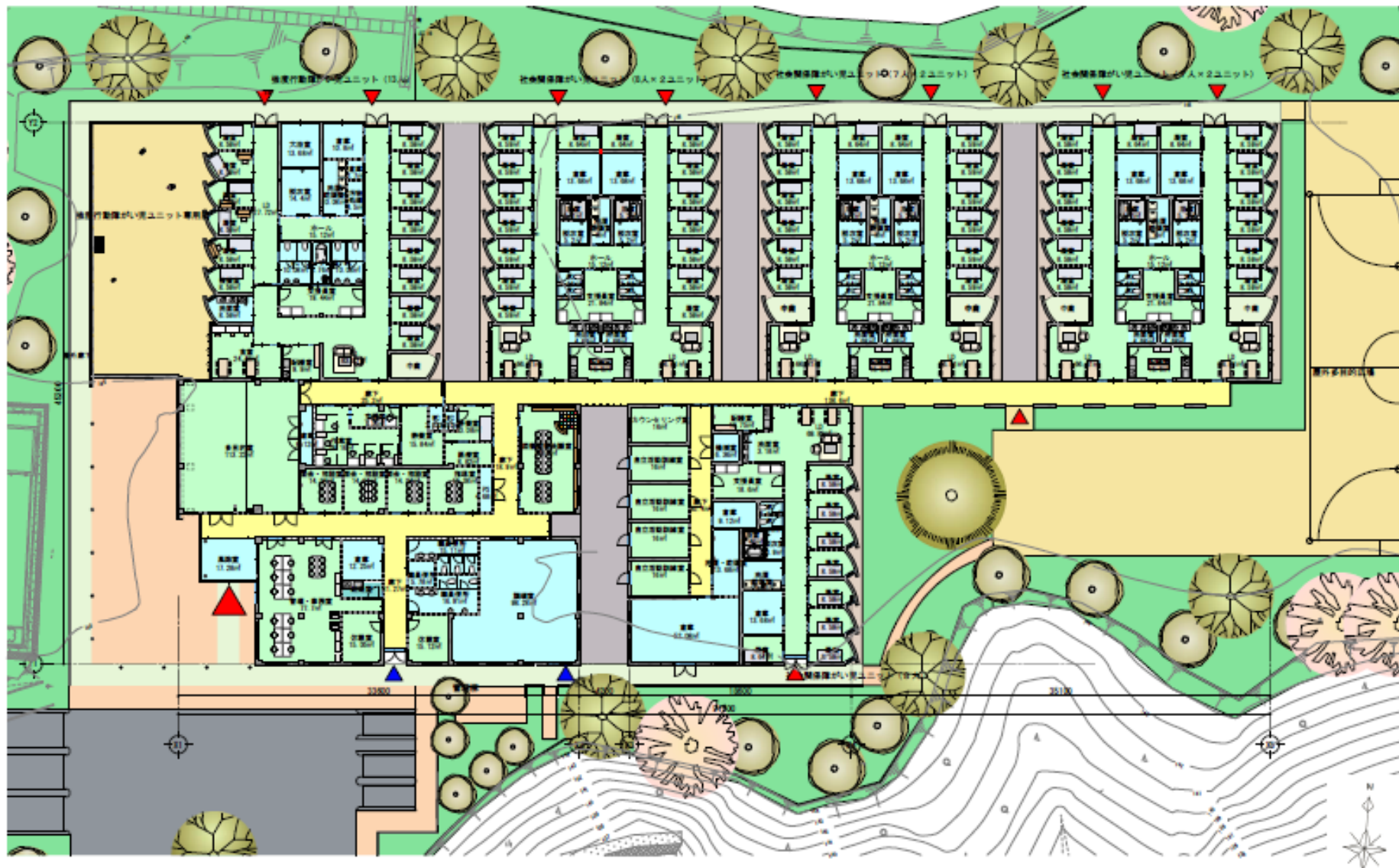
利用者の安全性確保のた  
め敷地周囲にはフェンス  
H=1.8を施すが、中低木  
などで修景を施す。

# [修正後の配置計画]



大塚市立富田林特別支援学校 改訂版 敷地計画	1/1000	大塚市立富田林特別支援学校 改訂版 敷地計画	1/1000
作成者 大塚市立富田林特別支援学校 改訂版 敷地計画	作成者 大塚市立富田林特別支援学校 改訂版 敷地計画	作成者 大塚市立富田林特別支援学校 改訂版 敷地計画	作成者 大塚市立富田林特別支援学校 改訂版 敷地計画
作成日 2024.03.28	作成日 2024.03.28	作成日 2024.03.28	作成日 2024.03.28

# 〔当初の平面図〕



# [修正後の平面図]

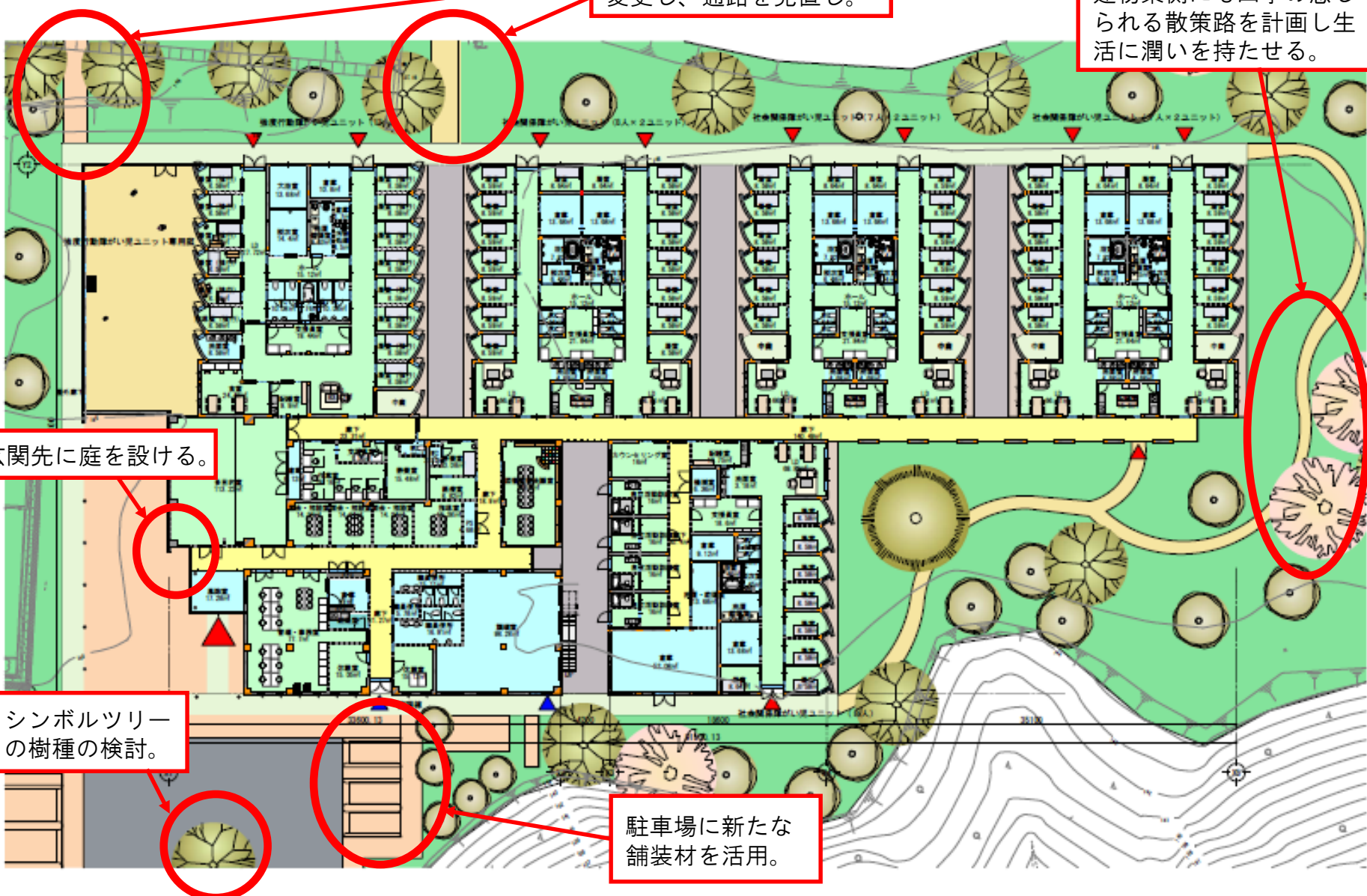
屋外多目的広場は位置を変更し、通路を見直し。

建物東側にも四季の感じられる散策路を計画し生活に潤いを持たせる。

玄関先に庭を設ける。

シンボルツリーの樹種の検討。

駐車場に新たな舗装材を活用。

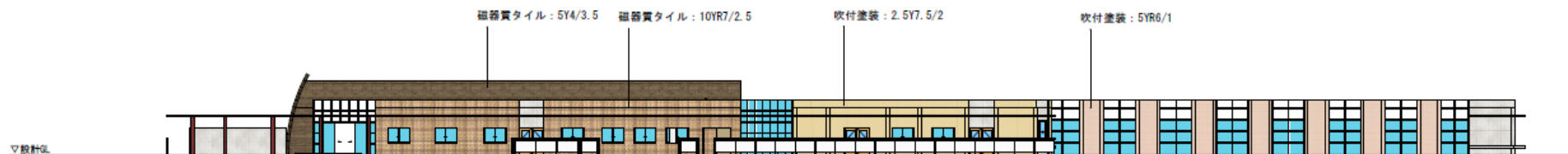


# 〔当初の立面図〕

## 北立面



## 南立面

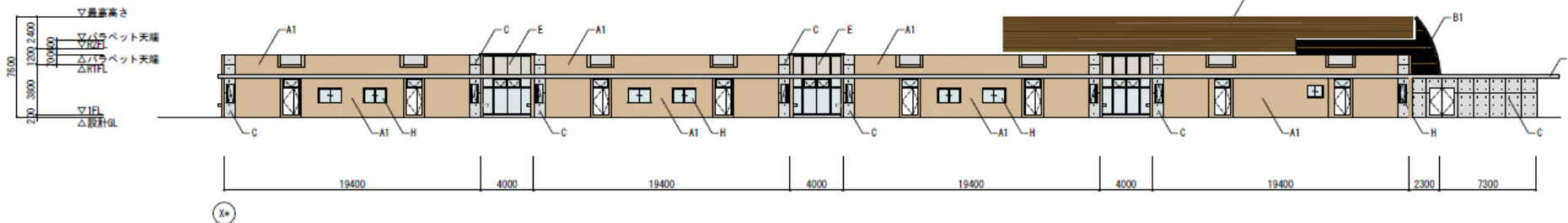


# 〔修正後の立面図〕

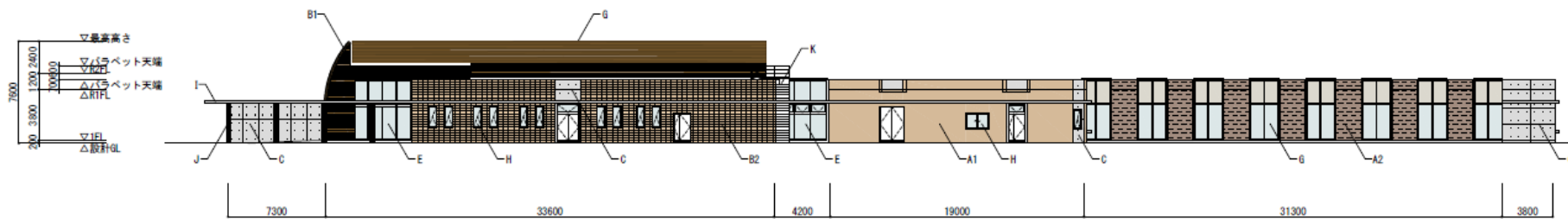
意見を踏まえた  
色彩・材質  
の検討。

マンセル値	外部仕上凡例	
2. 5Y7. 5/2	A1	RCの上、フッ素樹脂吹付塗装 (ゆず肌仕上)
5YR6/1	A2	RCの上、フッ素樹脂吹付塗装 (くし目仕上)
5Y4/3. 5	B1	RCの上、タイルA (磁器質タイル)
2. 5Y7. 5/2	B2	RCの上、タイルB (磁器質タイル)
7. 5B7. 5/0. 5	C	RC打放し仕上の上、撥水材クリア塗装
2. 5Y7. 5/2	D	PCaの上、フッ素樹脂吹付塗装 (ゆず肌仕上)
	E	アルミ+木製複合カーテンウォール
	F	アルミ笠木
5Y4/3. 5	G	アルミ製目隠しルーバー (木目調)
	H	アルミサッシ
	I	庇、スラブ
	J	鉄骨柱 (DP塗)
	K	屋外階段 (RC造)

## 北立面



## 南立面



# 〔当初のエントランス〕



西側エントランス

# 〔修正後のエントランス〕

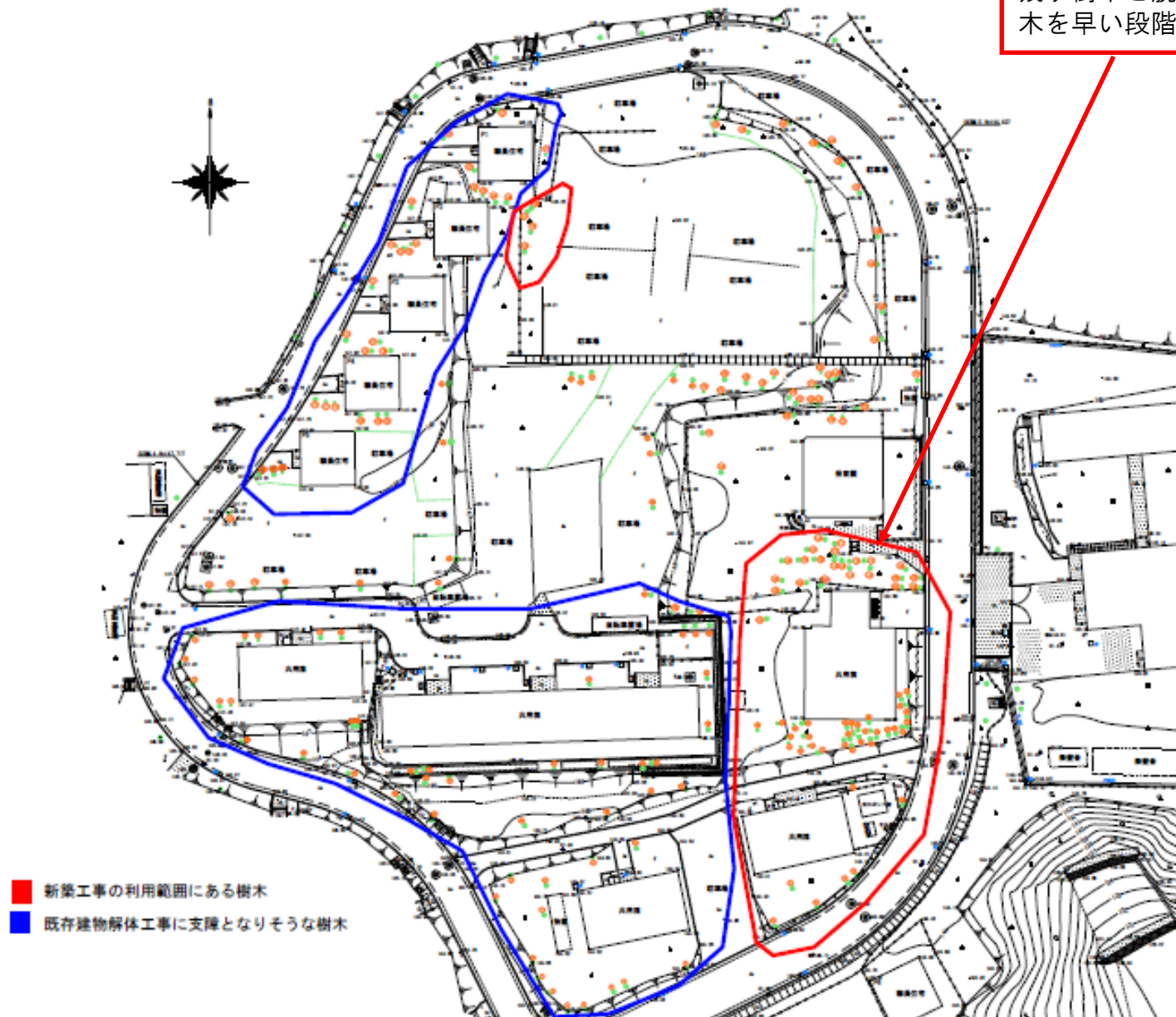


エントランス前



# 〔既存植栽残存可否検討〕

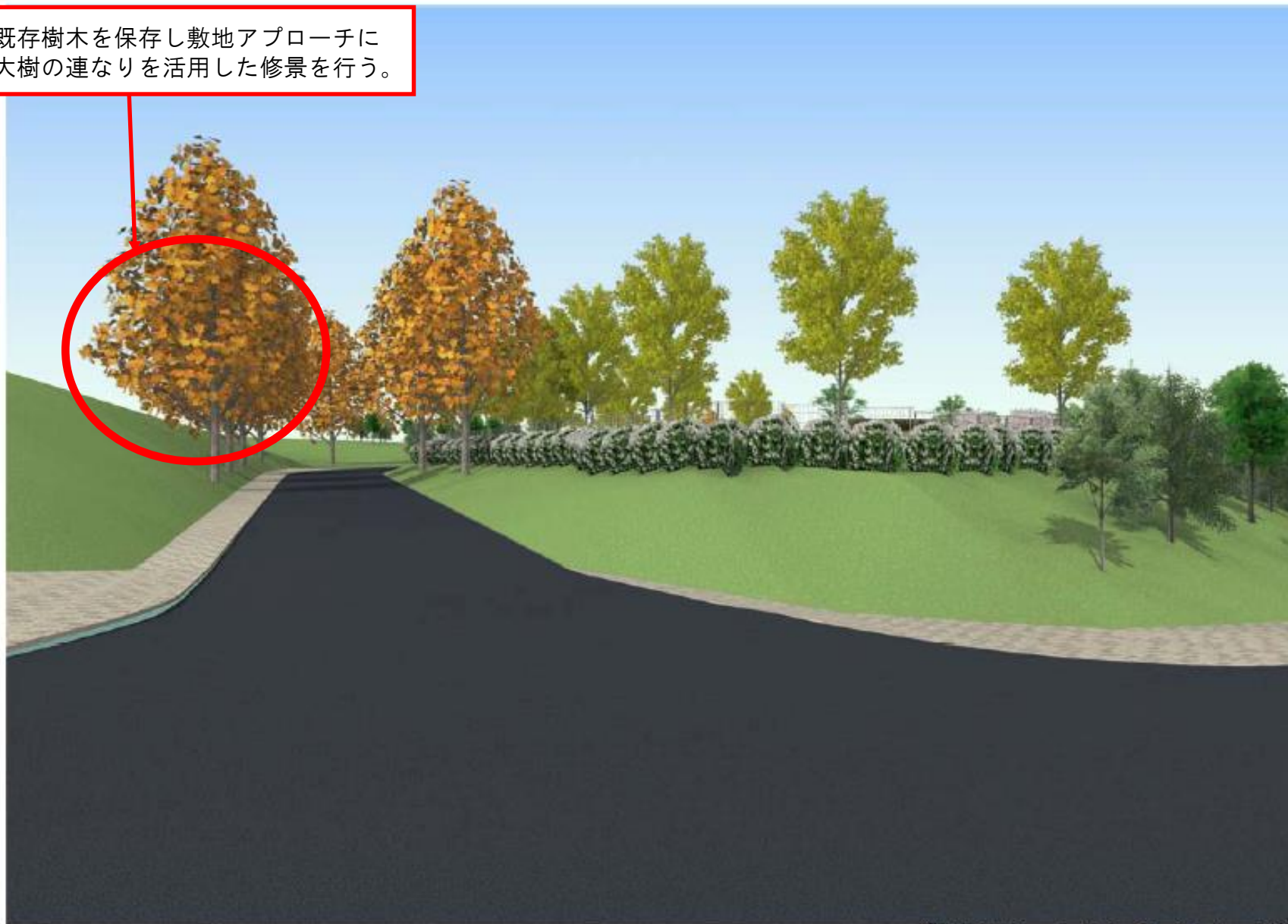
残す樹木と脱木する樹木を早い段階で整理。



- 新築工事の利用範囲にある樹木
- 既存建物解体工事に支障となりそうな樹木

# 〔アドバイスを反映したアプローチ〕

既存樹木を保存し敷地アプローチに  
大樹の連なりを活用した修景を行う。



# 〔アドバイスを反映したアプローチ〕

フェンスH=1.8を施すが、  
中低木などで修景を施す。

車路と歩道の表情を  
変える工夫を行う。



アプローチイメージ

# 〔全体のランドスケープ〕

